

A photograph of a traditional Japanese village scene. In the foreground, a wooden bridge with a stone railing spans a river. Two people are walking on the bridge. To the left, a stone staircase leads down to a wooden platform in the water. In the background, several traditional Japanese buildings with tiled roofs and wooden walls are visible. A willow tree is on the right side of the image.

千葉県香取市の農業政策に対する
関係者の問題構造認識に関する分析と
課題の抽出

香取市



香取市の農業 1



資料:千葉県生産農業所得統計

香取市の農業 2

単位:億円

区分	農業産出額	米	いも類	野菜	畜産	その他
千葉	277.8	47.1	6.1	98.3	87.8	38.5
東葛飾	456.1		38.7	3.1	304.5	21.2
印旛	653.9	101.6	80.8	300.4	75.1	96
香取	521.8	122	93.7	104.7	177.7	23.7
海匝	787.6	85.6	6.4	357.2	278.6	59.8
山武	427.9	107.1	7.7	186.7	83.8	42.6
長生	189.2	62.4	2.1	71.2	32.8	20.7
夷隅	129.3	38.1	1.4	20.7	62.4	6.7
安房	298	40.6	2.5	62.9	78	114
君津	272.6	63.7	12.9	64	106.1	25.9
県計	4,014	706	217	1,570	1,003	518
香取地域順位	3	1	1	5	2	8
占有率	13.0%	17.3%	43.2%	6.7%	17.7%	4.6%

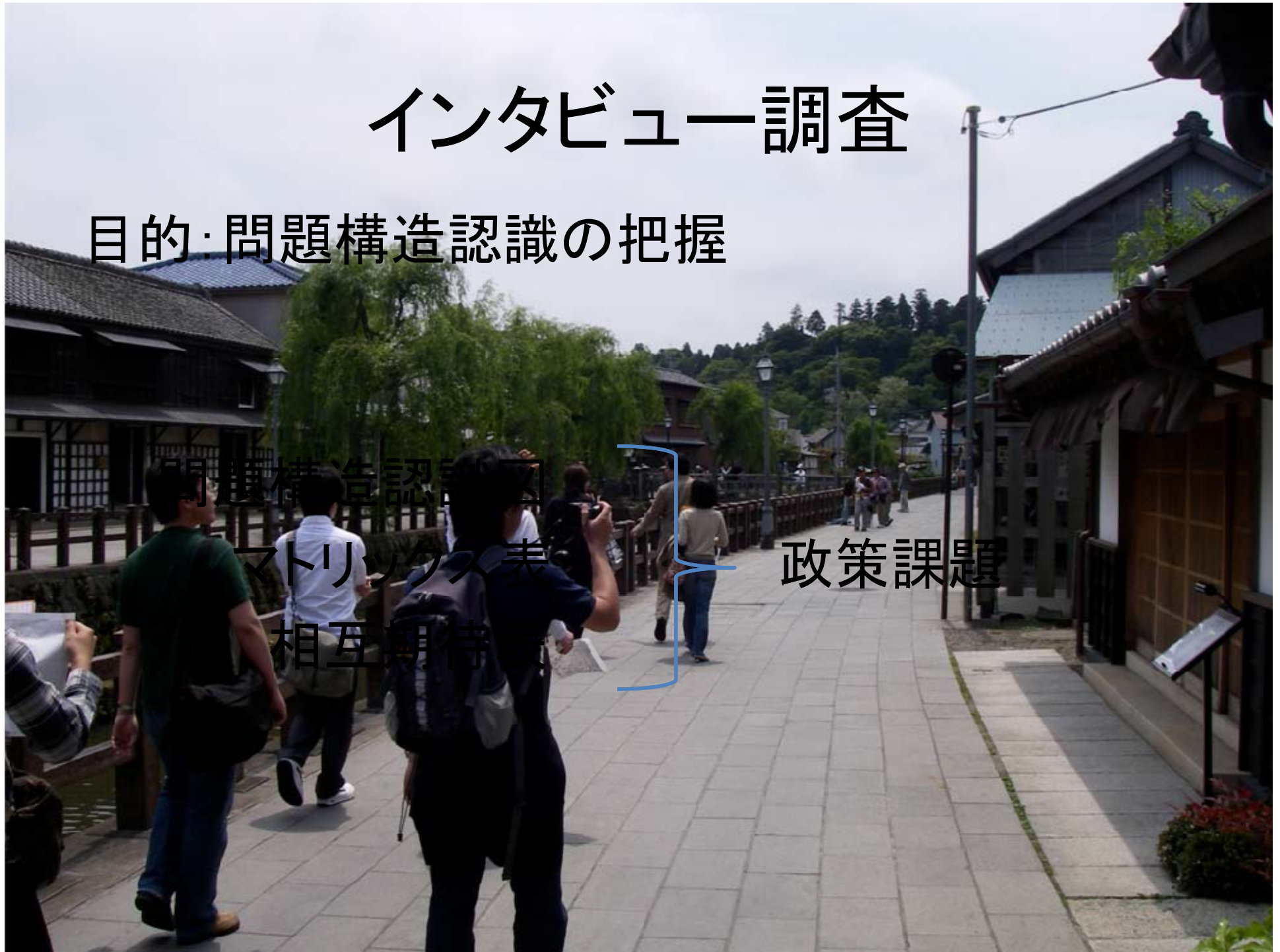
生産農業所得統計(平成18年)

インタビュー調査

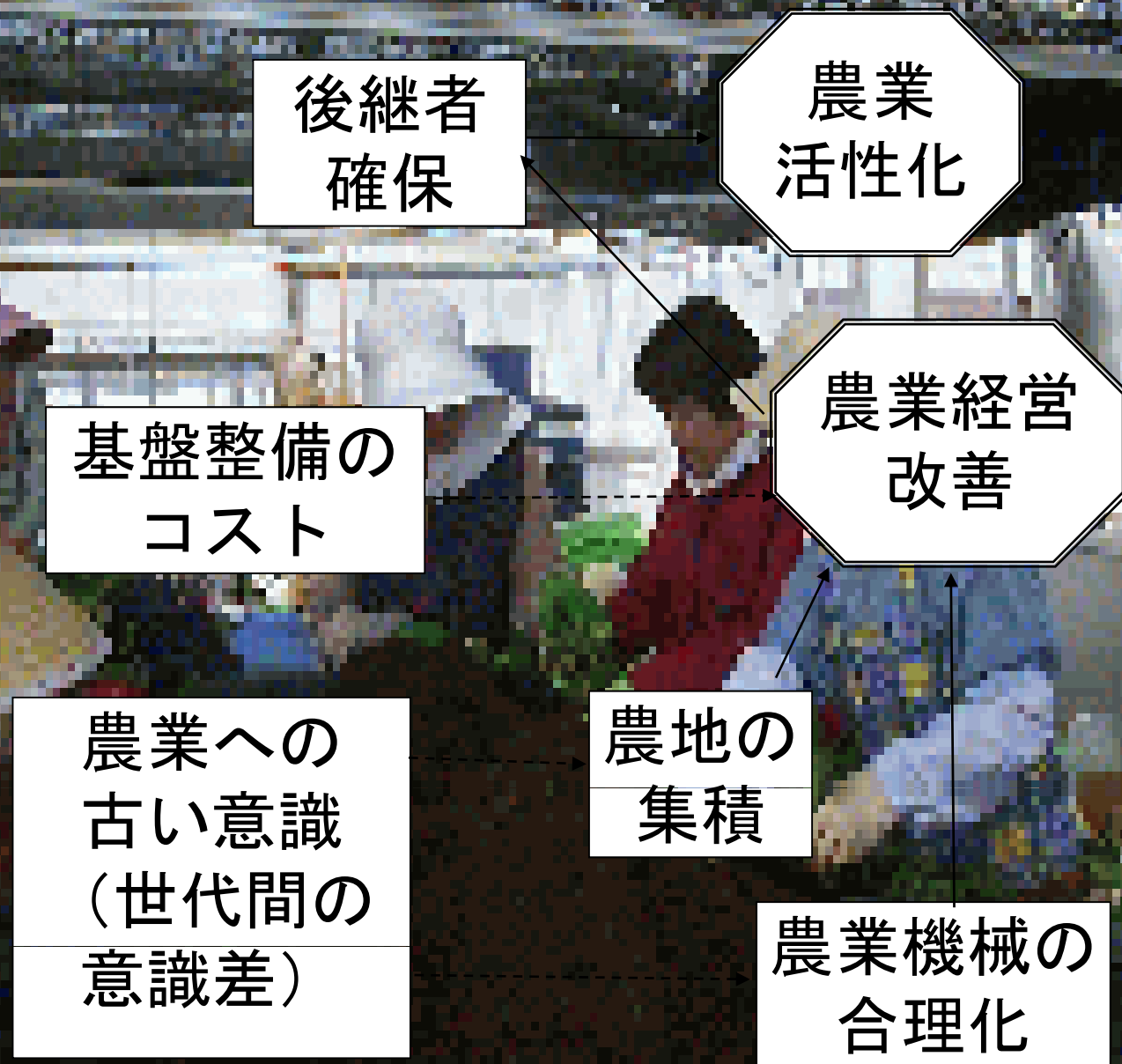
目的: 問題構造認識の把握

問題構造認識図
マトリクス表
相互期待表

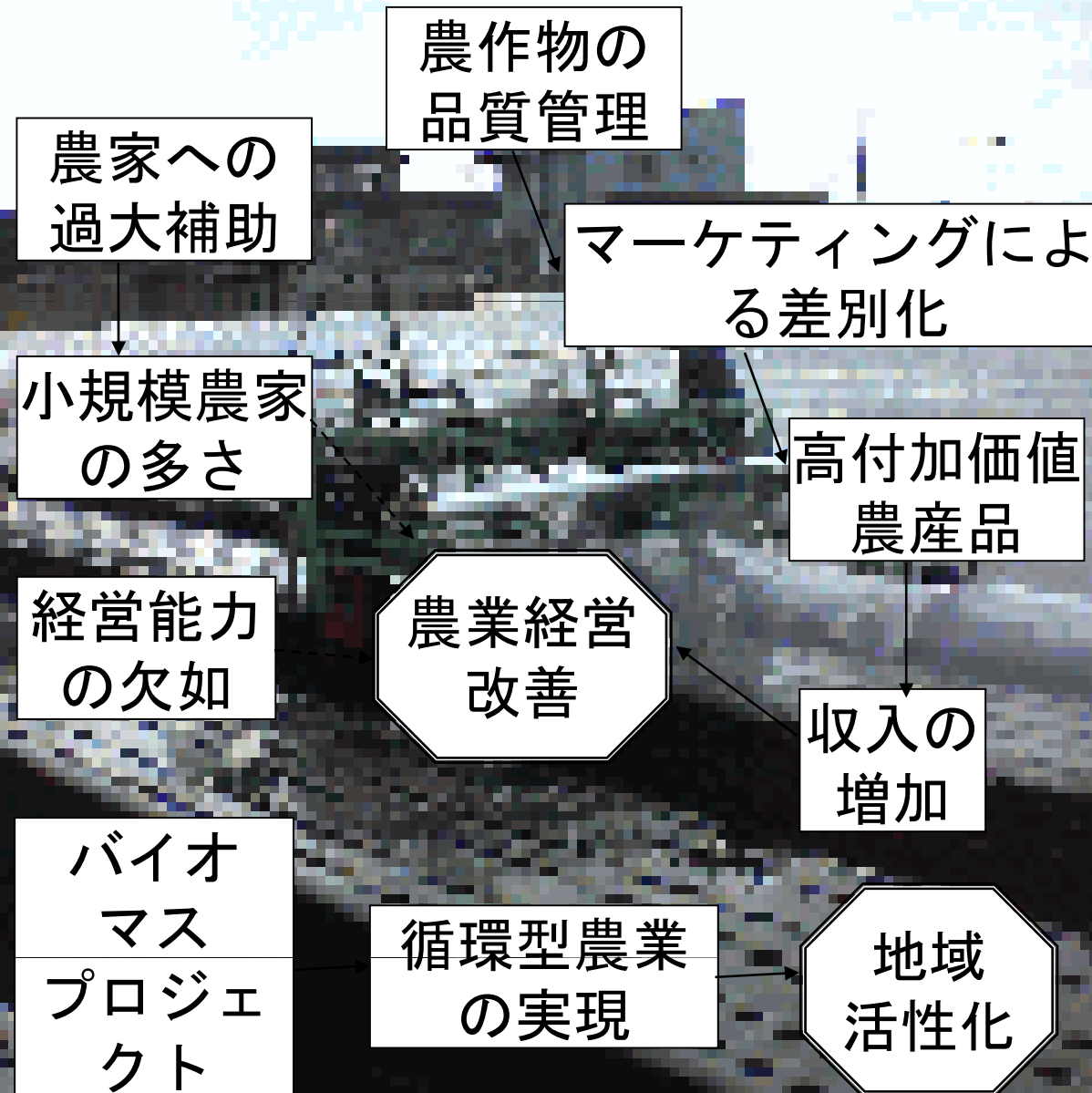
政策課題



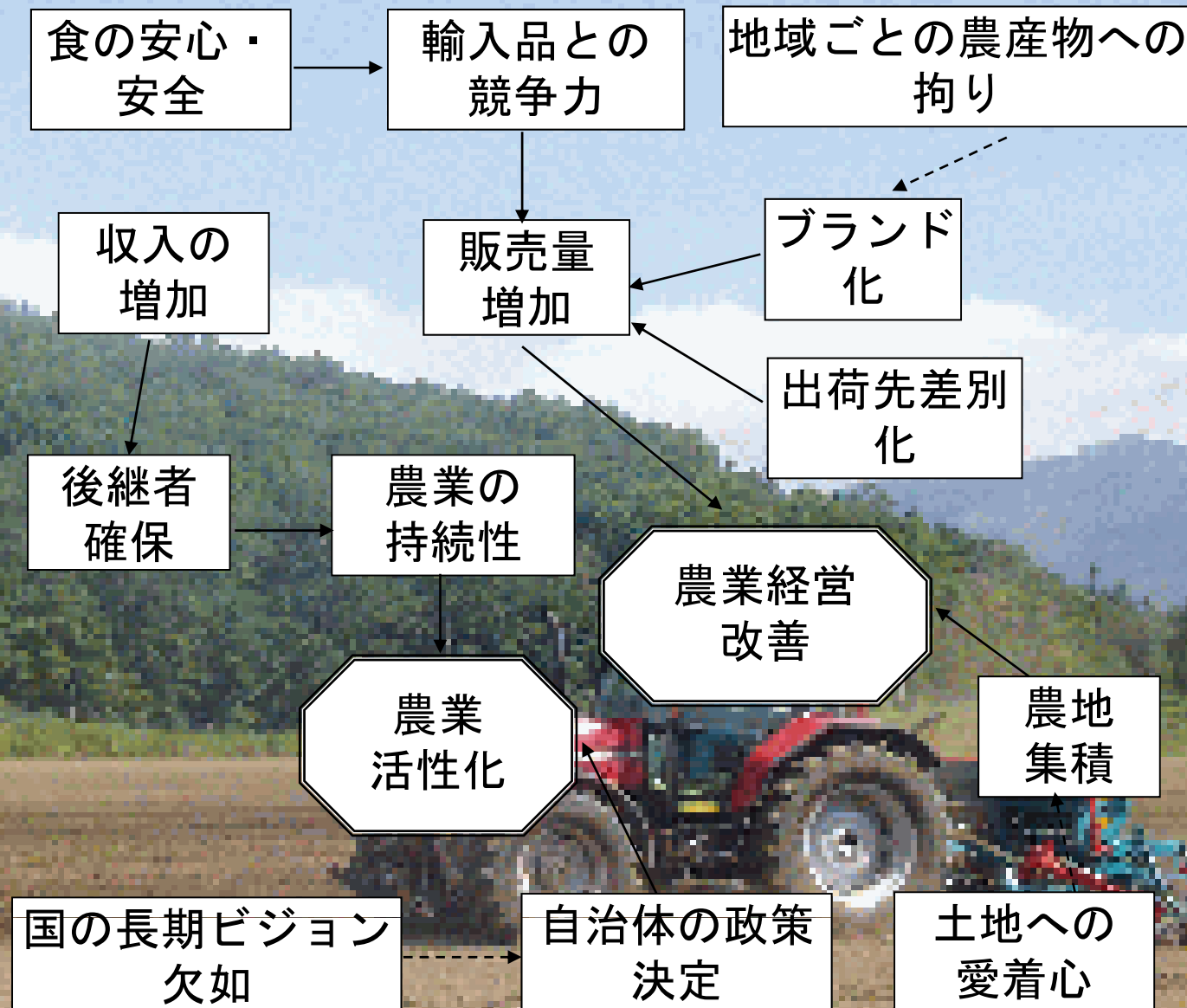
兼業農家の問題構造認識図



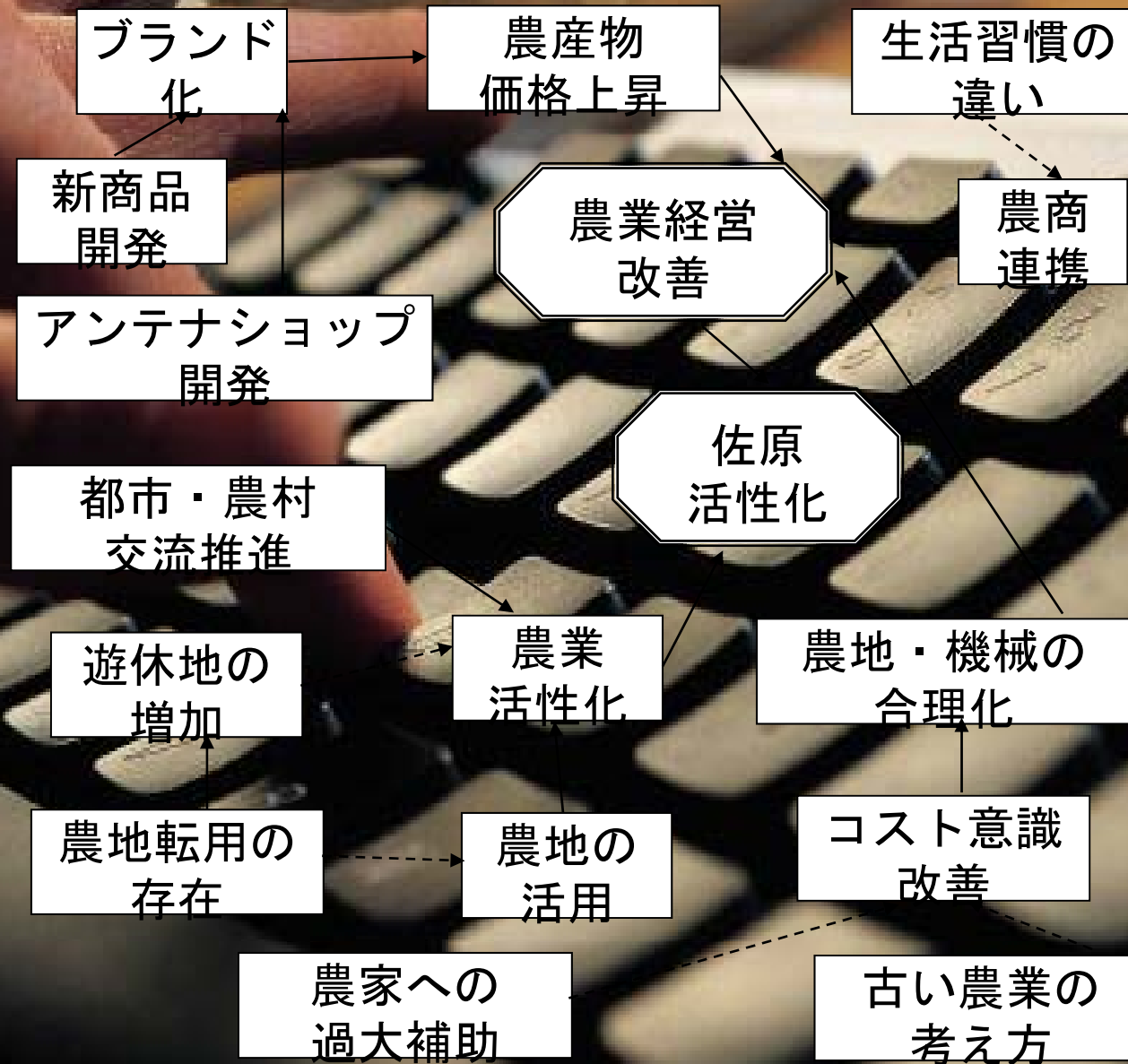
和郷園の問題構造認識図



JAの問題構造認識図



商工会議所の問題構造認識図





農業活性化・経営改善



ブランド化・後継者
・基盤整備

マトリックス表 1

	高齢化	担い手	食の安全	連携			ブランド化	販路
				全般	道の駅	町・都市		
市民活動推進課関係者				都市・農村交流が重要課題	鮮度が良い、消費者のつながり			
農政課関係者		基盤整備必須、外国人研修生支援体制構築必要	農業体験で理解促進	佐原への観光客に農業をアピールしたい	観光と連携が必要	交流人口の拡大が目標	産地のイメージや各品目のイメージ作り重要	産米、野菜は農協、量販店対応が重要
県地域づくり推進課関係者		刺激がある、住んで楽しいが重要			高齢者政策にもなる		生産から消費までを完全にコントロール必要	市場ニーズは加工用
J A 関係者	後継者不足の方が問題	収入少=後継者不足、後継者がいなくては十数年で終わり	輸入品との競合で優位に立てる	行政の協力重要、ただし、観光と連携の効果不明	事業として成り立つか不明	出向くことで、リーダーが付く	試食会、メディア利用など販促活動、地域ごとの考え方がブランド化の妨げになっている	別のところと混ざらないように出荷場所変える必要
商工会議所関係者					有用性、広報中	町と農村の関係強化	ブランド化重要、アンテナショップ設置案、佐原金時など新商品の開発	習慣の違いが農商の連携にマイナス
兼業農家	世代間で意識異なる	農業だけではダメ、現在60歳代の人がいなくなった時が問題		滞在時間を伸ばす工夫必要、体験イベント重要	天量に捌けない	距離の問題、市外との連携も考える	ブランド化は困難、差別化、伝わらない、マーケティング重要	
風土村関係者		若い担い手のグループ作り必要		滞在型をやりたい				
和郷園関係者		担い手不足が問題ではない（効率化の契機となりうる）					自分たちの商品でマーケット提案ができるかが重要	
大権農場関係者		労働に見合う収入があれば、後継者は付く、そのためにはある程度の規模が必要		循環農法、畜産廃棄物を有機肥料に変え、谷津田米の生産などで使用				競争激化で、かつての付加価値は認知されなくなり、対応を模索中
バイオマス関係有識者				バイオマスタウン構想は地域の評判良い、地域の人々がプラントをどう組み合わせっていくか模索中				

マトリックス表 2

	経営			行政・政策	新規参入		地域と農業	合併
	集落営農、 合理化	法人	民間		一般	団塊		
市民活動推進課関係者					新規の販路の利用		栗源では畑作中心、観光と農業の連携を進めてきた	
農政課関係者	農道を改善するための農地保有合理化事業					本格就農は困難	基盤整備率は県全体と比べ低く、米からの転作進んでいない色々なメニューで耕作している農家少ない	地域ごとに特色を伸ばすこと重要
県地域づくり推進課関係者	メンバーに兼業が混じると、専業と兼業で意見や品質に相違が出る	志を持つ農家が集まって作っている	ニーズを理解した生産計画	農家過保護、農業の多様化に対応できていない	最低限ではダメ		プライドを持っている農家が少ない	地域間の戦略的パートナーシップ必要
J A関係者	経営サポート、愛着心が集約を妨げている、農家からの提案はあまり無い			長期ビジョン無し、22年度以降の見通し立っていない	畜産で外国人研修生	趣味の範囲		色々な意見が聞けるメリット、地域ごとの考えが残っている
商工会議所関係者				形骸化している農業の再産業化必要			農地転用による利益期待の問題	
兼業農家	合理化を進める上で、世代間の考えの違いが障害になる			全国一律では効率悪い、土地、生産性を考慮した調整必要	初期投資が障壁		兼業が多くなると畑作をやめて、手間の掛からない米作に転向、地産地消が実現しているか疑問	
風土村関係者	集積させて次代の人に引き継ぎ、作らせる仕組み必要			遊休地対策としての補助金必要			風土村の近辺は農家が多いが、単品目しか生産していないため、近隣住民にも必要がある	
和郷園関係者				農業＝インフラ産業としての補助金必要			農家はユーザーを意識していない、地域活性化のための経営システム必要(バイオマスなど)	
大権農場関係者	同じことを行っている人たちが協働すること重要	規模拡大に法人格必須						
バイオマス関係有識者		和郷園、経営者がユニーク、香取市の農業の代表的事例ではない	プラント用意できない	農水省の認定が下りると補助金、県など広域自治体の協力重要			合併後も、旧山田町時の自治を継続させている。地域住民全員が何らかの形で農業と関連していることがバイオマス成功の要因	広域化した分、住民のコンセンサスを得るのに時間が掛かる



- 担い手

- 連携

- ブランド化

- 経営改善

相互期待表

		行政			農家					第三者	
		市	国	県	J A	兼業	風土村	和郷園	大権農場	商工会	バイオ
行政	市				販路整備	全般にはブランド化への協力。小規模は連携					
	国										
	県	楽しい地域づくり。文化Lvの向上	明確な政策			プライドを持って。販路や品質の管理		民間の進出			
農家	J A	活動しやすい、地域的なまとまりづくり	しっかりとした政策			フレキシブルな土地経営					
	兼業	合理化支援、バランスの取れた基盤整備	地域に合った政策								
	風土村	滞在型観光地化への支援	飼料高騰対策の補助金	滞在型観光地化への補助金							
	和郷園		農業＝インフラ整備としての補助金			経営センスをつける					
	大権農場										
	商工会		農業育成としての政策		ブランド化推進	販路整備や観光連携への協力					
	バイオ	事業と地域住民のコーディネート				事業への理解と協力		地域をまとめるリーダーシップ			



• 農家 × 都市住民

• 長期ビジョン・地域に即した政策

香取市

県→企業参加促進

JA→基盤整備促進

外部関係者・地域住民のコーディネーター



対象の限定

- 中小規模農家

大規模農家は？



政策課題の抽出

- 流通網の再編
- 交通網の整備
- 農地・農業機械の集積

バイオマスプラント



Q & A

この一歩から

測量の日

平成 20 年 5 月 1 日

